

第 5 期 産 業 振 興 計 画 < 農 業 分 野 > の 令 和 8 年 度 の 取 り 組 み の  
強 化 の ポ イ ン ト に つ い て

# 令和8年度の取り組みの強化のポイント

## ◆分野を代表する目標：農業産出額等

単位：億円

	R 4 (出発点)	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標	1,210	1,221	1,174	1,191	1,209	1,224
実績	1,081	1,136	1,233	-	-	-
達成度	B	B	A	-	R8年12月公表予定	

## ◆分野を代表する目標：農業生産量（野菜主要11品目）

単位：万t

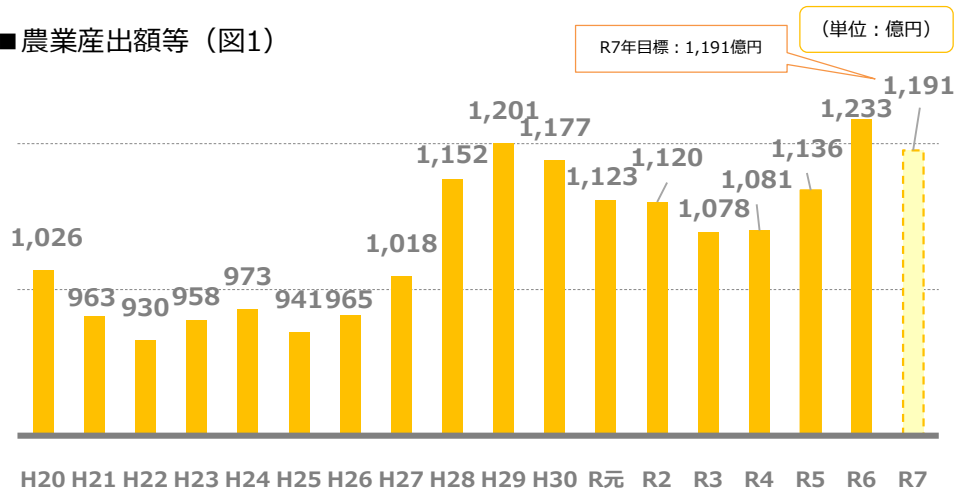
	R 4 (出発点)	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標	13.4	13.6	13.4	13.6	13.9	14.1
実績	12.9	12.4	11.9	-	-	-
達成度	B	B	B	-	R8年12月公表予定	

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

## ◆分野を代表する目標の達成見込み

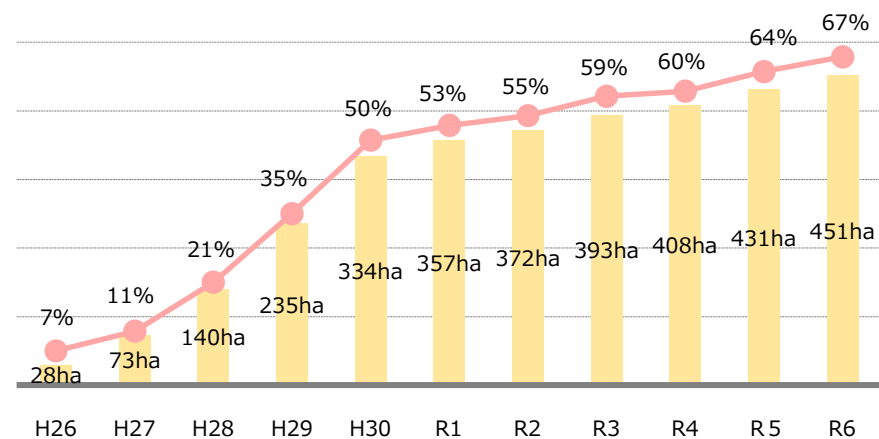
- R6年の農業産出額等は、夏期の高温や渇水等の影響で全国的に野菜の生産量が減少したため単価が上昇したことに加えて、米の価格高騰の影響もあり、目標額を59億円上回る1,233億円となったが、農業生産量（野菜主要11品目）は、2月、4月の日照不足や8～9月の異常な高温、少雨等の影響により、目標を下回った。
- R7年の農業生産量は、夏季の気温が高く推移したものの高温対策を実施したことにより、目標には届かないが平年並みとなる見込み。販売単価は、全国的な生産量の減少により例年より高く推移している。
- 引き続きIoTクラウド「SAWACHI」の利用者増加によるNext次世代型こうち新施設園芸システムの普及拡大、データ駆動型農業による反収の最大化、経営体の規模拡大や周年生産化による雇用の増加、夏期の高温に対する資機材の導入支援及び技術開発、農地を守る多様な担い手の確保に取り組む。

■農業産出額等（図1）



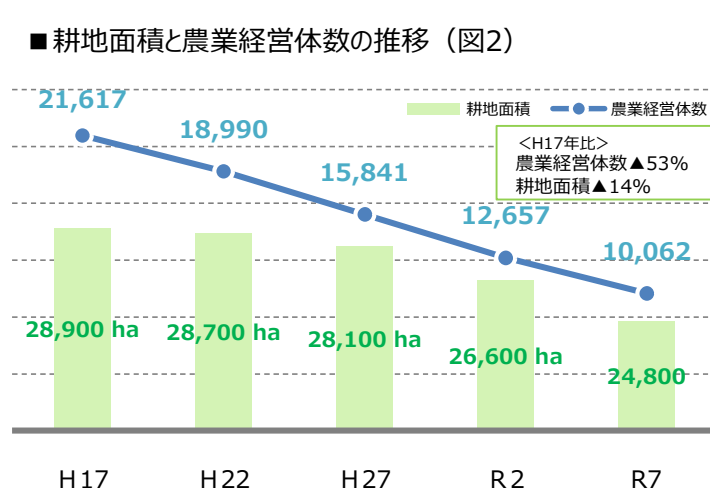
R6年は、野菜の全国的な収量減による単価高や米の価格高騰の影響から、R5年から97億円増加の1,233億円となり、目標の1,174億円を達成した。

■野菜主要7品目の環境制御技術導入面積と導入面積率（図4）



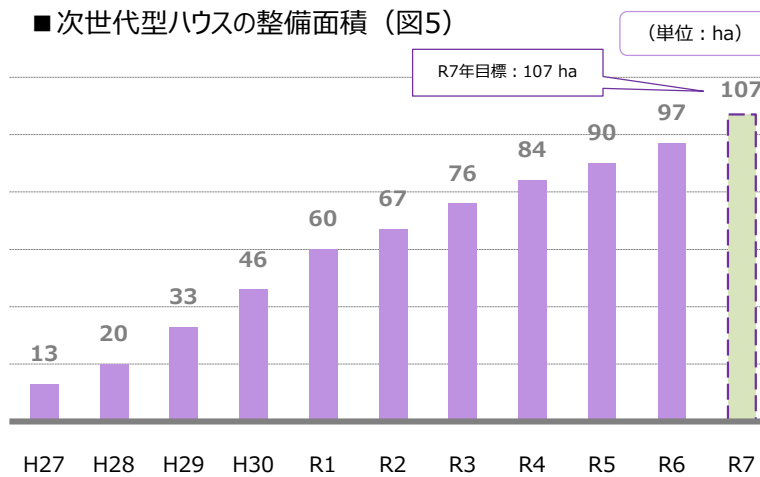
野菜主要7品目の環境制御技術の普及はR6年度には451ha（67%）と一定進んだものの、データを活用して増収につなげる農業者は限定されている。次世代型ハウスの整備面積は資材高騰の影響により投資意欲が減退しているが、一定の面積が増加している。

■耕地面積と農業経営体数の推移（図2）

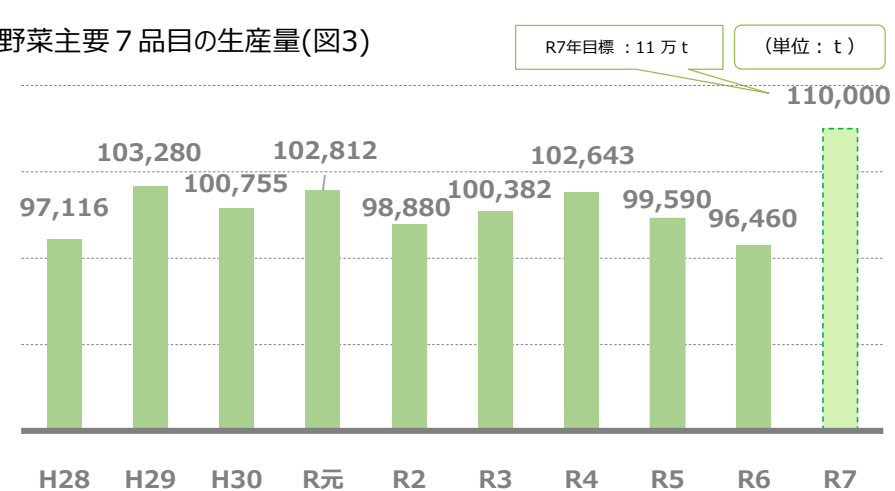


農業者の高齢化等により、耕地面積、農業経営体数ともに減少傾向。

■次世代型ハウスの整備面積（図5）

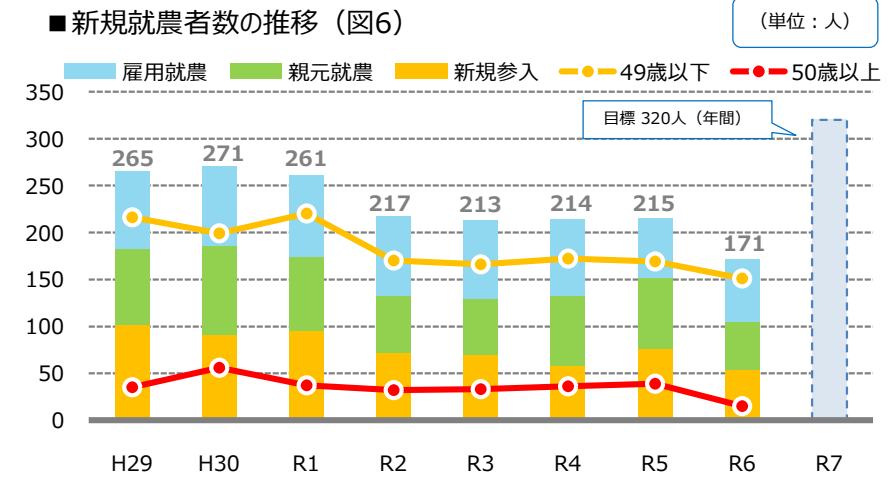


■野菜主要7品目の生産量（図3）



耕地面積が減少しているものの、反収の増加により、野菜主要7品目の生産量は横ばいで推移。

■新規就農者数の推移（図6）



R6年度の新規就農者数は、大幅に減少。初期投資額の上昇や定年延長により、子育て世代の新規参入者数やシニア世代の親元就農者数が大きく減少している。

# 農業分野の施策の展開 ～地域で暮らし稼げる農業～

目指す姿

○生産性の向上と持続可能な生産方式の両立により所得が確保され、いきいきと農業ができる環境が確立されている  
○多様な農業人材が農業生産や生産基盤の維持・保全活動に参画し、中山間地域の農業・農村が守られている

分野を代表する目標

農業産出額等 (飼料用米交付金含む)

出発点 (R4) 1,081億円 ⇒ R6 1,233億円 ⇒ R8 1,209億円 ⇒ 4年後 (R9) 1,224億円 ⇒ 10年後 (R15) 1,248億円

農業生産量 (野菜主要11品目)

出発点 (R4) 12.9万 t ⇒ R6 11.9万 t ⇒ R8 13.9万 t ⇒ 4年後 (R9) 14.1万 t ⇒ 10年後 (R15) 14.6万 t

## 柱1 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化

## 柱2 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築

### (1) Next次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進

- ①IoPプロジェクトの推進
- ②データ駆動型農業による営農支援の強化
- ③園芸産地の生産基盤強化
- ④地元と協働した企業の農業参入の推進

### (2) 農業のグリーン化の推進

- ①有機農業の推進
- ②堆肥の利用促進
- ③IPM技術の普及拡大
- ④施設園芸における省エネルギー対策
- ⑤みどりの食料システム戦略の推進にかかる技術開発
- ⑥稲WCSの生産拡大

### (3) 園芸品目別総合支援

- ①野菜の生産振興
- ②特産果樹の生産振興
- ③花きの生産振興
- ④大規模露地園芸の推進

point グリーン化による農業の構造転換で持続可能な農業を実現



### (4) 水田農業の振興

- ①主食用米の生産振興
- ②酒米の生産振興
- ③水田の有効活用に向けた有望品目への転換

### (5) スマート農業の普及推進

- ①スマート農業の実証と実装支援

### (6) 気候変動に適応した栽培技術の普及推進

- ①新たな技術の実証と対策機器・資材の導入支援

### (7) 畜産の振興

- ①土佐あかうし・土佐黒牛の消費拡大に向けたブランド化の推進
- ②肉用牛、養豚の生産基盤強化と生産性向上
- ③土佐ジロー、土佐はちきん地鶏の生産と加工販売体制の強化
- ④酪農における生乳生産能力の向上
- ⑤飼料価格高騰の影響を受けにくい畜産への構造転換
- ⑥稲WCSの生産拡大 (再掲)
- ⑦食肉センターの整備

### (8) 6次産業化の推進

- ①新規事業者の掘り起こしと売れる商品づくり

### (1) 集落営農組織の拡大と農地の受け皿となる法人の育成

- ①集落営農の推進
- ②農地の受け皿となる法人の育成

### (2) 組織間連携の推進と地域の中核組織の育成

- ①農村型地域運営組織 (農村RMO) の推進

point 多様な農業人材・組織等により中山間地域の農業を守る



## 柱5 農業全体をけん引する基盤整備の推進と優良農地の確保

point 企業参入や規模拡大に必要な大規模な農地を創出



point 地域計画に基づき担い手へ農地集積



### (1) 地域計画の着実な推進

- ①まとまった優良農地の確保に向けた基盤整備の推進
- ②迅速かつきめ細かな優良農地の確保に向けた基盤整備の推進
- ③担い手への農地集積の加速化
- ④園芸団地の整備促進

### (2) 基盤整備の推進

- ①まとまった優良農地の確保に向けた基盤整備の推進(再掲)
- ②迅速かつきめ細かな優良農地の確保に向けた基盤整備の推進(再掲)

### (3) 農地の確保

- ①担い手への農地集積の加速化(再掲)
- ②園芸団地の整備促進(再掲)

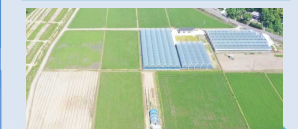
### (4) 日本型直接支払制度の推進

- ①中山間地域等直接支払制度の推進
- ②多面的機能支払制度の推進

point 中山間地域の条件の悪い農地をほ場整備で優良農地へ



point まとまった農地での生産により物量を確保し有利販売へ



## 柱4 多様な担い手の確保・育成

### (1) 産地を支える新規就農者の確保・育成

- ①産地提案型による自営就農者への就農支援の強化
- ②雇用就農者の確保に向けた支援の強化
- ③畜産の担い手確保の推進

### (2) 若者・女性への就農支援の強化

- ①農業の職業としての認知度や魅力度の向上
- ②若者・女性向け農業体験・研修の強化
- ③仕事と家事、子育て等を両立できる意識改革の推進
- ④仕事と家事、子育て等を両立できる仕組みづくりへの支援
- ⑤女性が働きやすい環境整備への支援
- ⑥産地提案型による自営就農者への就農支援の強化 (再掲)
- ⑦雇用就農者の確保に向けた支援の強化 (再掲)
- ⑧法人の規模拡大と企業誘致の推進

### (3) 労働力の確保

- ①JA無料職業紹介所と連携した労働力の確保
- ②農福連携の推進
- ③外国人材の受け入れ支援
- ④仕事と家事、子育て等を両立できる仕組みづくりへの支援 (再掲)

### (4) 家族経営体の強化及び法人経営体の育成

- ①認定農業者の育成支援
- ②家族経営体の経営発展に向けた支援
- ③法人経営体への誘導と経営発展への支援

point 働きやすい環境整備により農業が女性・若者から選ばれる仕事へ



### (4) 農畜産物のさらなる輸出拡大

- ①品目別輸出戦略に基づいた需要・販路拡大
- ②輸出に意欲的な産地への支援強化

point 品目別輸出戦略に基づき販路を拡大



## 柱3 流通・販売の支援強化

### (1) 「園芸王国高知」を支える市場流通のさらなる発展

- ①卸売市場と連携した販売拡大
- ②マーケットインの視点による業務需要拡大
- ③産地を支える集出荷システム構築への支援

### (2) 直接取引等多様な流通の強化

- ①「とさのさと」を活用した県産農産物の地産外商の強化
- ②園芸品・米・茶・畜産物のブランド力の強化と総合的な販売PR

### (3) 関西圏における県産農畜産物の販売拡大

- ①卸売市場関係者との連携強化による県産青果物の販売拡大

point 大都市圏での量販店フェア強化等により販売額をUP



生産増 ▶ 所得向上 ▶ 担い手増の好循環を創出!